休刊 大祭日 第一第三日曜
定價 一部 二錢 一ヶ月 六十錢 郵稅 十五錢
廣告料 毎行六十錢 指定廿錢增
福島縣平町田町十六番地 發行兼編輯印刷人 西沼能緒
發行所 磐城新聞社

一日一信

軍縮會議に於て我國の三大原則は遂に總括的對米七割比率、國防方針が無雜作に遺棄され而も濱口首相幣原外相が國防當時の意見を蹂躙した所謂統帥權侵犯問題、依つて生じた原因は頭目の會議に於ける質問應答に依つて次第に明瞭となれるかの感を與へた。それによると全權としての財部海相、國務大臣にして且國防の當局たる海軍大臣としての財部海相との二重人格の闘爭上の不手際輕率によるものゝ如くである。

財部海相が全權の一員として全權間の協議一致を認むの餘、國防當局としての海軍大臣の重責を餘りに輕んじた輕卒の態度あることは今や蔽はんとして蔽ふ能はざる失態として明瞭になつて來た。國軍の最高權威の會議によつて決定し上奏御裁可を仰いで勅許となつてゐる三大原則を海軍大臣として放棄するにはそれ相當の手續きを執らねばならぬ筈である。これを單に政治的理由に藉口して米國案に妥協するためには世界の大勢と國防の現在及び將來に亘る國防方針に關する自己の所信を披瀝して國軍の首腦部の諒解を得なければならぬ筈である。然るにこの當然の措置を執らず獨斷を以て米國案に承諾を與へたのは國防當局者として實に輕率千萬といはねばならぬ。

財部海相にして自己の處置に何等の遲疑なし萬全を盡して悔ひなしと斷言し得るならば議會を中心に國防不安を高唱せられてゐる今日一刻も早く歸朝して自己の信念を披瀝して國民の不安を一掃するに努むべきである。然るにも拘らず財部海相は何故かベルリンに道草を食ひ且接援の歐洲入りて故國國民的不安を目賭しながら悠々と休養するが如きは實に國務大臣として職責に缺くるところなきか且又國民に對して不親切極まるものと指彈を受けても一言辯解の辭はないであらうと思ふ。而も軍中談なるものに「女連れの旅だから疲勞する」云々といふに至つては國民を愚にするも甚だしいではないか、海相の夫人同伴に就ては出發前にも兎角の世評があつた、併し吾等は今是を彼是いはんとするのではない、夫人同伴の旅つかれに藉口して國務に不忠實、國民に不親切なることを論難せんとするものであるが、今期議會は陸相病氣で登院せず海軍は文官の事務管理をたいてゐる共軍部大臣出席してゐない特異の議會である、而も統帥權問題を中心に軍縮協案の論難頻なる時、滿洲や朝鮮悠々遊び暮すなどゝは例令政府注文として議會の席を可能の爲の歸朝延引策であるとはいへ實に責任ある國防當局者の行爲とも思はれない。吾等國軍の威信の爲にも財部海相速かに敢然起つて其所信を國民の前に披瀝し暗雲低迷せる國民的不安の掃に努められん事を必要せんと欲するものである。

郷土平を讀ふ

長谷川正男

平名どころ歌どころ
昔しや安藤公が城立てゝ
歌ひいでしは跡のところ
物見ケ岡に傘さして
遠くやがせや望むなら
右にや長橋左にや月見
前にやゝがやの田市街
內郷高坂の街道筋にや
自動車、馬車や荷車や
ゑきな姉さんのほゝかむり
赤いたすきに赤腰巻で
歩く姿が氣にかゝる

明日の吉凶

舊暦四月十五日　新暦五月十三日

一白 歩調正しければ彼岸に達し得らるべし 壬
二黑 口舌は勿論のこと取引にも爭ひなき樣すべし 良 南が吉 坤と丙・庚吉
三碧 人を責めず我を省らず必大なれば自ら事丙と丁が壬吉
四綠 一利を得し第二の利を夢みることなく退くべし 壬癸と丁吉
五黃 自力本意を以て捗らぬとも焦らず進むべし 坤と巽・北吉
六白 甘り來た業は支障なき移轉旅行は凶 巽と丙 じんが吉
七赤 位高し 祿は少なし高ぶれば更に損招く 巽じん癸が吉
八白 平凡無爲の內に自から芽吹きす日なり 坤と丙と艮が吉
九紫 飲食さへ愼めば餘事は大低都合よく行くべし

講談 幕末奇傑 高山彥九郎 (133)

中西洋々作　市施長春畫

素走りの助六(四)

「な、なになんと申す」

そのこゝの意味がはきり分らぬの、彥九郎は問ひがへしました。

「この方の宿料より、まだ拂つてはない筈ぢやが……」

「いえ、と、ろ、もう頂戴して居ますんで……」

番頭は、却つて不審さうにから云ひます。

「これは異なことを申す」

彥九郎は、けげんな面持

「その方、しかも拙者か金受取つたと申すか」

「いゝえ、旦那さまからでムいませんので」と番頭はもみ手を乍ら

「それはやつぱり御存じでございませんのでございますか」

「と申すと、なにをぢや」

「いゝね、實はなんでムいます、旦那さま」

と、番頭はやつと氣を取直したように言葉を改め

「今朝程、旦那さまの方のお勘定はいくらになつてゐるか、といつてたづねていらつしつたた方がムいますんで……」

「ふうむ」

「これこれだと申しあげましたら、それでは私がお拂ひ申しますといつて、名分のお茶代まで一緒に下さいましたので……」

「おゝさうだつたか」

彥九郎には、始めて謎がとけました。と同時にそれ程までに思つてくれるすりの男――すばしりの助六の心がまたなきものに思はれるのでした

「して、その男といふのは二十五六の若い町人であつたらうな」

「へい、左樣でムいます。それではやはり、御存じさなんで……」

「いや、知り合といふ程はないがこささか仔細あつて存じてゐるのぢや」

と答へて置いて

「して、その男は、昨夜は來なかつたか」

「へね、實は昨夕からずつとお泊りになつてゐらつしやいましたので……」

「ふうむ、さようか」彥九郎には助六がとつた行動がはつきりと分りました。昨夕泊つて宿帳をしらべて、こちらの部屋に忍び込み、例の大金をしのばせて行つたにちがひない。そして歸りしなに自分の宿料も共々拂つていつたものだ。さう分るとます〳〵その心根がすてがたくなつて參ります

「番頭、濟まんが、宿帳をみせては下さるまいか。實はその男の姓名を知りたいと思ふのぢやが……」

「へえ、では旦那さまはお名前を御存じ遊ばしませんので……」

「うむ、仔細あつて、まだ本名を知らんのぢや」

「へい、宜しうムいます。それではしばらくお待ち下さいまし」さういつて下つて行きましたが、やがて持つて來た宿帳をしらべますとたしかに例の手紙と同じ筆蹟で「伊勢國桑田……伊勢屋助六、二十六歲」としたゝめてありました。この助六は後年彥九郎の死後、その菩提を弔ふために、佛門に歸依して玄明となつた人であります。

さて、彥九郎は忘れがたい思ひを、殊には、この尊い神域のほとり、五十鈴川の流れの岸に殘して、また西上の旅をつゞけて行きました。

紀伊より奈良に出で、大和、河內とめぐり歩いて漸く京にその姿を現はしたのはその年の秋のも中のことでありました。

記者募集

中學三年修業程度以上の學力ある男子、身體强健にして新聞記者生活に趣味を有する者二名(平町居住者に限る)を至急募集す希望者は履歷書持參本人午前中來社あれ委細面談

磐城新聞社

紙上相談

氣が鬱いで

身柄の安静が肝要

もう前からのことですが非常に頭痛がして氣が鬱ぎ人に會ふことや話をすることを極度に嫌ひ終日家の中に閉ぢこもつてゐて考へに困み耽つてゐるのか何とも困つてゐます。本人は只今二十一歳の男です、その病名と療治をお教へ下さい (困窮生)

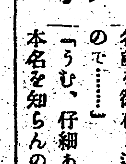
單純性癡呆ちやないかと思はれます。この病氣は十二三歳から二十四五歳位の所謂春機發動期の青年男女に多いので破瓜病といふ名もあります。この病氣に罹ると今まではよく出來た學業も段々劣等となり、氣質が變つて偏屈となり、根氣がなくなり無精となり規則正しき生活がいやになり何だか他人が自分を觀て笑つてをるやうな又反感を持つてをる樣な氣がする爲外出を厭ふ樣になり、學生なら學校を缺席し部屋の中へたて籠つて呆然一所を凝視して考へ込んでをり食事もきまつた時間に家族と一所に攝らない、厭ふそうかと思ふとツマラヌ事に立腹して障子を破つたり茶碗をたゝきつけたり亂暴をする事がある多くは頭痛、めまい不眠を訴へる。この病氣 原因はよく分らぬ遺傳が可なり關係ある。さういふ父母や近い先祖に精神病、大酒家、異常氣質の者(所謂變人といはれてイヤに剛情な人、無暗に臆病な人)があるとこの病に罹りやすいといはれてゐる、有接發病原因としては生殖器に關係ある內臟のはたらきの障碍だといふ人もある。だから婦人では一度病症が輕快しても月經時妊娠分娩により再發することがある、又この病氣にかゝり易い體質の人が精神を過勞すると(殊に多いのは失戀)本病を發することがある。原因がよく分らぬから原因的療法といふものはない、成るべく外界の刺戟を避け靜かな場所へ安靜に休養させよくねらせる樣にし(睡眠劑)滋養に富んだものを勸め攝らせる、どうしても食事を攝らぬ時は鼻から胃へ入れて營養をする身體を不潔にしても平氣でゐることがあるから注意して清潔にしてあげる、最も看視すべき事は患者が突然自殺行爲に出ることである。右の始末であるから本病に罹つて少し重くなるやうならば成るべく精神病院へ入院させた方がよい本病は非常に經過が永い然し全體の四分の一は全快するとのこと

淋病の療法

自宅では困難

私は五十日前より淋病にかゝりましてその模樣を見て二日目より私の地方の某醫者にかゝり治療を受けてゐました注射は隔日に十五六本うちました(それは球に入つてゐる黃色いさうつと體がホドル二種でした)內服藥も呑みました注射六、七本の頃より放尿時の痛みは止まりましたそれが同時に隔日洗滌もなし四十日も續けてゐたのでしたが膿、なほ止まりません慢性になるのでせうか。それに今では貯の金もなくなり病も直らず困つてゐます以上の樣なようだいですがこれから自宅療法で治るでせうか (愛讀者)

淋病 自宅療法は困難ですから醫師の治療を受けられることをお勸めします尤も經濟上不可能とあればやむを得ませんが注射等金のかゝることをせず藥液の注入のみをしてもらつたら宜しいと思ひます又この注入が最も効果があるものです、內服藥は量を過すと消化器を害する恐れがありますから注意を要します血液檢査では淋病の有無はわかりません。



大和田醫院

ハムようまい
鹽豚販賣
田町 三三屋

外科一般(入院隨意)
內臟外科專門
花柳病科
平町六丁目(橋際)
木村外科醫院
電話三〇九

特賣!!
たひら正宗 福島縣清酒品評會一等賞受領
花春 同優等賞受領
醬油釀造元
鹽屋 山崎合名會社
電話一〇番

帽子!!
皆樣の御氣に召す
モダーンな型
スマートな色合
中折
鳥打
子供帽
可愛らしいお子樣方のために
明るい初夏の帽子
平町四丁目
ツルヤ
電一四〇

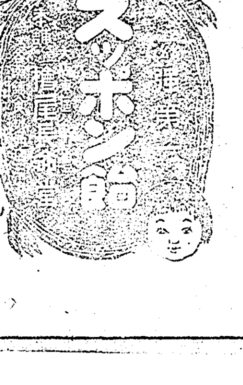
平町紺屋町
吉田眼科病院
募集。看護婦(資格者)

夜間診察
胃腸 梅毒
內科 十二指腸虫病 專門 內科部
淋病 婦人病 皮膚病 專門 外科部
松村胃腸病科醫院
(平南町電話一〇七番)

清酒 世界釀造元 清水屋
銘酒 吾
石城小名濱町
各炭鑛御用達
小野晋平
電話六番

確實敏捷は㊇の生命なり
良品廉賣に勝る商略なし
磐城セメント特約代理店
金物問屋 和洋銅鐵
㊇釜屋商店
磐城國平町五丁目
電話九番 一三九番
振替貯金口座東京一〇九五六番

初夏 サロンの新裝
四月十日ヨリ
樽詰生ビール並にタンク入ソーダ水の用意が出來ました
ソーダファンテン設備完成
カップ 一杯 十五錢
ジョッキ 一杯 五十錢
ドーゾ御散歩がてら御來店を……
美味で評判のきもちよいサロン
サロンの公休日は毎月第三日曜
平町田町 サイフ 電話三五二番



スッポン飴 一圓 二圓
スッポン酒 二圓
スッポンへモクロビン錠 三圓
平町五丁目角
山野邊藥局

內科、小兒科 市原卯太郎
外科一般、婦人科 市原陸郎
外科、梅毒、淋疾 皮膚病 市原三三男
平町田町本通
(入院隨時)
市原醫院
電話一一四番

資本の充實を計る爲め 株金第二回拂込みを斷行
斯くして安固な基礎を築く 平魚市場の恒久策

平魚市場對鮮魚取引所の紛爭問題は本紙既報の如く妥協の目鼻がつかぬうちに取引所側は營業停止の處分に過ひ全く營業不能に陷り百十七名の組合員等は取引所の再生するまで四丁目の宍戸屋其の他の魚問屋と取引きを續け辛じて營業し乍ら或る程度持久戰の用意に備ねる一方取引所が營業停止によつて勝利者の位置に立つた魚市場側の態度稍々硬化し漸く纒まりかけた妥協案は自然相距つて行きつゝある狀態である、所が魚市場側 理論 戰ひには勝つたが營業内容の實態は相當打撃を蒙つてゐることは爭ひぬ事實にして飽まで鮮魚商組合を向ふに廻し持久的に將來安固なる基礎を確立する爲めには相當資本の充實を計る必要ありとの輿論が一部株主間に提唱され來たつた關係もあり會社當局では此の自然的趨勢に鑑み近く第二回の株金拂込みをなさしめ資本の充實を計し以て對鮮魚商組合問題が有利に解決せしめんとす方針に出でるらしいが時節柄株金の拂込みに對しては株主間に相當の異論もある模樣である

高きに過ぎる 質屋の利息
改善せねばならぬ 石城郡下の現況

石城郡地方に於ける庶民階級の金融機關として尊重される質屋の存在は必要缺く可らざるものとして小名濱湯本町は既に公設質屋を設置し平町も近く設置の段取りであるが縣の方針は之れ等公設質屋を認めると同時に個々質屋の改善を必要とされてゐる、即ち統計課調査による利子は(公設質屋を含む)十圓に對し最高四十錢、最低五錢の平均二十一錢四厘、一圓に對し最高四錢五厘、最低八厘平均二錢九厘になつてゐるが普通貸借の百圓に對し日步二錢若しくは二錢五厘に比すれば非常に高く、それも擔保でも取つて置かねばそこにもあるがむしろ相當以上の擔保を取つてたいては高利に過ぎるといふにある右については縣でも更らに

考究相當 の機會にたいて個人質屋に對し利子引下をなさしむべく計畫してゐるが中には不正の質屋もあり巧妙なる手段によつて利子の二重取りをなすものもある等稱せられ尤も右利子了についてのみ見るもその平均にして百圓に對し一ケ月二圓十四錢となり最高に見れば實に一ケ月四圓となりはなはだ高利に過ぎるものである

鰹魚群薄し
磐城丸の報告

縣水産試驗場では本年鰹漁場第二回調査の爲磐城丸を去月二十八日出航せしめ八丈島附近迄調査したが六日前小名濱へ歸港した、その結果は八丈島南東の海區は餌付不良、御藏島東二分の一南八十浬の海區で鳥付魚群に合せ一尾八九百匁の「カツヲ」約五百尾一尾三四貫の「ビンナガ」十一尾釣獲した魚群薄かつたと

家調選擧當選者
平署管内の分

平町

平町における家屋税調査委員選擧は同町元商業學校に於て行はれた有權者は約千四百で乘結員の三分の一だから會場の混雜も無く警察の警戒もなく投票總は明るるくのんびりとしてゐたが誰かは一本の貧乏籤をひかねばならぬので、候補者は外の選擧よりも胸を痛めたらしい尙投票結果は投票總數千百十七票で有權者名簿登載千五百二十二に對し四百五票即ち二割六分の棄權並に死亡失格があつた

(當選)一一六堀江正茂、一〇六井上茂作、八四野崎滿藏、七九楠田榮太郎、七七鍋田三重、七六○澤文太郎、七二齋藤寅吉、七五馬目玉彌、七二鈴木貿助、六六長小次郎、六六相川延太郎、六〇鈴木光吉、五〇吉村安次郎、四九荒川淺次郎、三五荒木忠夫、

(次點)松永友太郎

(内郷村)十五名

大越寅吉、大越勝之助、池田濱之助、平田良藏、澁澤鶴松、宮本鐵太郎、薗部末藏、佐藤三平、山崎佐一郎、菅野忠治、大平彌惣治、齋藤清太郎、山崎喜一、加藤丈夫、草野佐一郎

(江名町)九名

作山清七、加藤一造、太乘吉、馬目朝吉、坂本平四郎、坂本與惣兵衛、薗部善之助、近藤吉松、伊藤昇

(湯本町)十二名

上川才松、木村德三郎、若松孝平、若松和惣治、矢吹佐市、岸清吉、鯨岡惣造、矢吹莊司、若松友助、若松忠兵衛、渡邊長松、高木守彌

(小名濱町)九名

野崎國之助、草野良太郎、松本德次郎、小野政次郎、馬上兵吉、小野晉平、堀貞吉、國井忠太、小野豐十

(玉川村)六名

駒木根忠三、長瀬主水、鈴木平九郎、丹清彌、新妻安吉、中野廣

(豐間村)六名

阿部源兵衛、鈴木留吉、鈴木繁松、齋藤嘉吉、鈴木錦五郎、志賀重衛門

(鹿島村)六名

新妻賛雄、吉田政次、草川千松、鈴木大藏、波立佐一、鈴木一男

(高久村)六名

本間武、小野淺治、鈴木喜太郎、松本作治、箱崎半右エ門、鈴木林之助

(夏井村)六名

矢吹豐、小林清六、木銀次郎、鵜沼喜源、坂本善久、箱崎玉之助

(飯野村)六名

箱崎才三郎、北郷喜多治、永重菊治、木村公三郎、江尾多吉、志賀忠之助、

(赤井村)九名

金成新衛、磯上彌之丞、吉田佐內、猪狩忠人、吉田萬吉、菅野三郎、田久彌七、柴崎春雄、矢野采女

(磐崎村)十二名

佐藤八郎、瀧有司、大井川下兵衛、大平左久間、芳賀良太、矢内彥次郎、金成仙藏、箱崎恒彌、岩並政雄、吉田涉、野木左太郎、大田四憲太郎

(澤渡三坂組合村)六名

室原怒助、阿部直衛、大竹克彥、永山久助、松崎安房、小平慶治

(永戶箕輪村)六名

吉田豐美、粱谷信雄、平山柳藏、合津忠雄、遠藤宗重、大和田粂雄

(好間村)十二名

金成淺治、鈴木重行、大平新吉、大平國治、江尻林太郎、鈴木義孝、木田孝平、岡田濱治、鈴木清造、中村政行、伊藤庄助、佐藤藤作

(小川村)六名

國井淺、草野定藏、吉田榮男、柴崎佐之吉、箱崎秀治、吉田長光

(神谷村)六名

佐藤玄次郎、佐藤藤助、鈴木義壽、酒井長一郎、菅波兵庫、西部忠助、

(平窪村)六名

鈴木直次郎、長瀬源三郎、關塚益一、松崎銀之助、鈴木勇、福田國吉

炭坑附近に 不穩文書
平署で犯人嚴探

石城郡内郷村磐城炭礦では同炭礦經營の茨城縣多賀郡重内、雁の倉兩炭坑の休山により全從業員は毎日不安な日を送つてる折も折同高坂坑陣近に八日午後二時頃不穩文書を撒布したる者かあるので平署では極力犯人搜査中である。

略式に不服
正式裁判を仰ぐ

平町月見町舊勞農黨員大井川幸雄(二三)は昨年十一月四一六共產黨事件に關する記事を礦山通信なる印刷物に掲げた廉により出版法違反に問はれ福島地方裁判所平支部から略式命令で罰金二十圓を言ひ渡されたが同人は直に正式裁判を仰ぐこととなつた

中學校野球
磐城時報社主催

平町磐城時報社主催第二回縣下中等學校野球大會は來六月上旬磐中グランドに於て擧行するが參加校は磐中双中安中田中相中である

受取り人の無い 千圓の弔慰金
鐵道省も首を捻る 湯本事件の後聞

常磐線湯本驛構內踏切に於て乘合自動車が去る三月二十三日午前一時十二分列車に衝突したゝめ死亡した乘合江名町中ノ作自動車運轉助手坂本春松(二〇)同郡植田町金畑二一菊水キネマ協會橋質方樂手東京市大塚町下町一一六八田與作、同技手宮城縣香取郡西多賀村字宮津しん長男遠藤啄二三の三名の遺族に對し鐵道省右事件は目下福島地方裁判所平支部の公判に廻付され審理中なので責任が必ずしも鐵道側にありと斷定されてゐないが鐵道側では死者哀悼の意を表するとて右死亡者に各一千圓づゝを贈り更に重傷者でもある同キネマ辯士千葉市吾妻町二ノ一一二六松五郎二男安藤德次郎(二三)同茨城縣多賀郡鮫川村字鳴澤仙太郎二男瀨谷辰雄二六石城郡江名町中ノ作自動車運轉手高岡久(三四)の三名には見舞として治療代實費を贈つて來たので被害者一同は滿足してゐるので例へ責任が鐵道にあると雖も大なる問題はないものと見られる殘るは自動車屋側に乘客のみとなつたが死亡した八田豐作は全く係累がないので千圓の弔慰金は宙に迷つてゐる

石城醫師會
二十七日に開催

石城郡醫師會第二十一回總會は二十七日午後一時から平署會議室に開催、役員並に縣醫師會議員改選後健康保險報酬に關する件外數件を協議

收金した金の中に 贋造十圓紙幣
平署で犯人嚴探

平町鍛冶町石炭商吉田伴吉あてで十日集金した中に贋造十圓紙幣一枚が入つてゐたのを發見し平署に屆出でたが最近平町に於ける贋造の銀貨紙幣の續出に同署で目下取調中

溺死体漂着
情死の片割れか

石城郡植田町字岩間海岸に十一日午前九時頃一見二十三、四歳前後死後一ケ月を經過した腐爛した、男の死体が漂着したのを通行人が發見植田署に屆出でたので星署長現場に急行したが多分情死の目的で去月二日家出した石城郡湯本町無盡會社員綠川益雄で(三〇)はないかと噂されてゐる

度量衡の 部會總會
けふ平署で

度量衡福島支部石城部會並福島縣計量器組合石城部會の合同第 回組合は十二日午後一時より平署會議室に於て開催價格、協定諸事項協議の後縣度量衡檢查官增田技師のメートル法に就する講演ありて五時閉會終つて谷口樓で懇親會を開いた

塵除けの 稻荷樣
御利益の如何

◇…平町中町々有地內やがて町役場が建てられるあたりは現在塵捨場同樣になつて常に塵芥は山積をなして居るがこの山積した塵の上に十日何者とも知れぬ者がた稻荷樣の繪をかいた立札を數枚立て去つた、その傍には「塵捨る可からず、平町役場」の札も立つて居りあだかもた稻荷樣の神地だから汚物を捨てるなと言ふやうだ、これを見た附近の人達は捨てやうとした塵を捨てかね立札をのぞき込み立小便はははばになり通りがゝりの婆あさんは立止まつてムニヤ〳〵拜むと言ふ始末、さてこのた稻荷樣は何處から來越しになつたものか調査の歩を進めて見ると平町役場がこの處に塵捨てるべからずの禁札のかはりに立てたことが判明した、た稻荷樣ともなれば靈驗のあらたか驚くべきで忽ち塵なげと立小便は中絕したが御本体判明の曉、御利益が何時まで續くか面白い。

鈴木縣議母堂長逝
高久村の箱崎アサ子刀自 葬儀は十四日に

縣會議員鈴木辰三郎氏の實母高久村下高久箱崎アサ子刀自(八十七歳)は病氣療養中の處十一日午後一時逐ひに永眠した、葬儀は十四日午後二時自宅出棺同村地藏院で佛式により執行することとなつたが刀自は疾に良妻賢母の譽れ高く德に富んだ稀れに見る人で長逝を惜まれてゐる

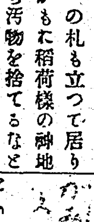
磐女通信
第三學年旅行團

△第一信

朝霧のまだ晴れ切らない中、平を離れ蒼漠なる關東平野を西へ〳〵と下つて日光へ着きました。日光から馬返まで電車に搖られ、徒歩で大谷川の急流に沿うて、つらひ思ひでしかし元氣に牛腸たる坂路を登りました。華嚴の瀧は思つたより水量も多く、全く莊嚴の美を表してゐました。更に疲れた足を早め中禪寺湖畔に辿りつきました入日を全身に浴びて暮れ行く男體山の湖面に寫る影は又一入の眺めでした四時半宿に着きゆつたりと湯に這入汗を流し樂しい夕餉の膳にむかひました。九時近く床に就き寢ながら表を通る流しの聲を聞いて旅の心をしみ〳〵と味ひました

△第二信

まだ雪の消えない山々を眺めながら、中宮祠、立木觀音に參詣、樂しく一夜を過した湖畔と別れを告げ白樺の林を通り九十九折の坂を下り十一時日光へ着きました。一時間位休息して東照宮に參りました。た宮の彫刻の細密なのと色彩 美しさとには深く心を打たれました。眠り猫の小さいのにはすつかり期待を裏切られてしまひました此處へは多くの感嘆詞を發して合歡ヶ淵へ行きました、巖と水との配合は誠に良くもう少し水量が豐かであつたらどんなに壯觀であつたらうと思ひました、四時半一同元氣に宿につきました



◇○長さんは目が覺めました「あ……わしが惡かつた賢妻の淚に誑まされて居た……」と男泣きに泣きました「坊主になつて申譯するのだが夫れは職務の手前出來ないせめ髯でもそり落そう」と立派な八字髯をソリ落飜然悟りを開き今は夫婦仲も睦まじく職務大事につとめてゐます◇さて此方は長松です淪落のどん底に沈溺してゐる彼の女 髯位そつた事位はお茶の子、糠に釘です、男から男の手に渡つて獨々と小草尙良末は何處の岸に花實を結ぶのか流れ〳〵て酒の香、肉の香にたゞれてゐるのはいとも憫れな事であります。

時言

平魚市場第二回株金拂込みの計劃

□

株主これを聞いてブルブル〳〵

□

受取人がなくて千圓の弔慰金宙に迷ふ

□

此の節柄あんまり勿體なさ過ぎる話しだ

□

此度は平町に十圓の贋せ紙幣

□

犯人ペロりと舌を出して「此次は百圓ものを出そうかナ」

□

塵除けの番人がわりに稻荷樣の繪札が立つ

□

神樣なればこそ是れでも腹を立てないのか豪い

平町紺屋町
藤沼醫院
電話五〇七番

肺結核、肋膜炎、感冒咳嗽に
肺炎カタル、氣管支喘息に
高速度特效藥
ホシアンチツベルケン
大 五圓 二五日分
中 三圓 十二日分
小 一圓五十錢 五日分
淋病消渇にホシゴノール
定價一三圓 一圓六十錢 一圓也
平町三丁目(平郵便局隣)
ホシチエーンストア
電話 四二九番

入院隨意(實験の便あり)
X光線科
外科專門
平 南町
上田外科醫院
電話一二九
增築落成
病室完備

三春の行樂麗らかな裝ひに!!!
御用命は何卒三井へ
京御召 錦紗小紋 羽二重帶側
本セル 銘仙 着尺モスリン
時節品豐富取揃へて御座います
三井呉服店

◎診療開始
耳鼻咽喉科專門　日本醫大醫學士院長　鈴木正男
齒科口腔外科　日本齒科醫學士科長　高橋正永
◎晝夜診療
下谷區入谷町二九一
入谷改正通り東安寺前六間通り
鈴木醫院

貸切自動車の御用命は
新型で乘心地よい
昭和タクシーへ
また三〇年型新セダン型入荷致します
平驛前
電話三四三番
サシミ